

取扱説明書

対象型番

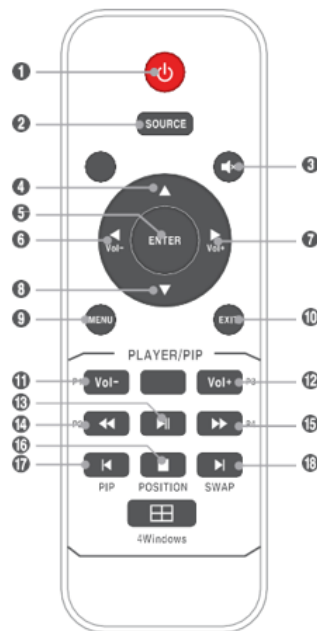
末尾がMK・MKI・の屋内用デジタルサイネージ

DIGITAL SIGNAGE

目次

リモコン	2
HDMIサポート	3
OSD調整及びその機能説明	4～11
USBプレイヤー	12～23
トラブルシューティング	24～25
使用上の注意	26～27
残像に関して・ドット落ちに関して	28
設置基準	29
RS232Cコマンドリスト	30～32

リモコン



2022年7月以降に
納品のモニターに同梱されています。

1. 電源をオン、またはオフにします。
2. 入力信号を選択します。
3. 一時的に音をオンまたはオフにします。
4. OSDメニューから項目を上に移動します。
5. OSDメニューから項目を選択します。
6. 音を小さく調整します。
7. 音を大きく調整します。

※大音量にしますとスピーカー破損の原因となります。

スピーカーは摩耗品扱いとなり音が割れても補償範囲内となりません。
標準推奨音量はデフォルトの30となります。

8. OSDメニューから項目を下に移動します。
9. MENUウィンドウが画面に表示されます。
またはOSDの項目で前の画面に移動します
10. MENUウィンドウが画面から消えます。
11. メディアプレイヤーで音を小さく調整します。
12. メディアプレイヤーで音を大きく調整します。
13. メディアプレイヤーで再生したり、一時停止します
14. メディアプレイヤーで巻き戻しをします。
15. メディアプレイヤーで早送りをします。
16. メディアプレイヤーで再生状態を終了します。
17. メディアプレイヤーで前の項目に移動します。
18. メディアプレイヤーで次の項目に移動します。

※ 16,17,18 PIP, Swap, Position機能の動作は、本製品群では対応していません。
また最下部の4Windowsボタンも、本製品群では対応していません。

HDMIサポート

No	解像度	水平周波数(KHz)	垂直周波数(Hz)
1	480p	640 x 480p	60
2	576p	720 x 576p	50
3	720p	1280 x 720p	50 / 60
4	1080i	1920 x 1080i	50 / 60
5	640 x 480	31.47	59.94
6	800 x 600	37.88	60.32
7	1024 x 768	48.36	60
8	1360 x 768	47.71	60
9	1280 x 1024	63.98	60
10	1920 x 1080	66.59	60
11	1080p	1920 x 1080p	60
12	3840 x 2160	67.5	30
13	3840 x 2160	135.0	60

※ 最適な解像度 : Full HD モデル 1920 x 1080
 UHD モデル : 3840 x 2160(選択仕様)

OSD調整及びその機能説明

- 画面設定



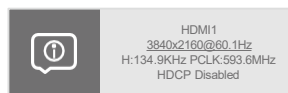
• 入力信号を選択するには？

1. **[SOURCE]**ボタンを押してください。入力信号項目が画面に表示されます。
2. ◀/▶ ボタンを使用して、目的の入力信号に移動してください。
3. **"ENTER"**ボタンを押して選択します。

※MMPが搭載されていないモデルの場合、MMPは選択肢に表示されません。

ケーブルなし

信号が接続されていない場合は、**(ケーブルなし)**というフレーズが表示されます。



信号が接続された状態で**[ENTER]ボタン**を押すと、現在のSourceに関する詳細情報を確認することができます。
該当情報は画面下部に表示されます。

OSD調整及びその機能説明

- 画面設定

OSDメニュー 画質調整

 画質  PC-VGA  カラー  時間	backlight	90
	明るさ	50
	コントラスト	50
	シャープネス	2
	表示回転	0

1. MENUボタンを押してください。OSD項目が表示されます。
2. ENTERボタンを押して"画質"モードを選択してください。
3. ▲/▼ ボタンを押して設定項目に移動してください。
4. ◀/▶ ボタンを押して設定値を調整できます。
5. 画面モードは以下のような手順で表示されます。
 - バックライト: 画面LEDバックライトの明るさを調節します。(明るさが減れば消費電力が減ります。)
 - 明るさ: 画面全体の明るさ(白み)を調整します。
 - コントラスト: 画面の明るさと暗闇の違い(濃淡)を調整します。
 - シャープネス: 画面の鮮明度を調整します。
 - 画面回転: 画面を回転できます。(0:通常、180:画面を180度回転)
6. 以前のメニューに戻る(画面・PC-VGAなどの選択画面に戻る)には、**MENUボタン**を押してください。

※ HDMI入力の場合、OSD上の「PC-VGA」項目は有効になりません。

OSD調整及びその機能説明

- カラー設定

OSDメニュー カラー調整

	ガンマ	オフ
	色温度	カスタム
	赤	50
	緑	50
	青	50
	色効果	標準
	カラーフォーマット	RGB
	色合い	50
	彩度	50

1. MENUボタンを押してください。OSD項目が表示されます。
2. ▲/▼ ボタンを押して **カラー項目** に移動してください。
3. ENTERボタンを押して**カラーモード**を選択してください。
4. ▲/▼ ボタンを押して、変更したい項目に移動してください。
5. ◀/▶ ボタンを押して値を調整できます。
6. カラーモードは以下のような手順で表示されます。

- ガンマ:画面の明るい部分と暗い部分をよりスムーズに設定します。(オフ/1.8/2.0/2.2/2.4)
- 色温度:色温度を設定します。(初期設定はカスタム 赤・緑・青の調整で色の微調整が可能です)
- 色効果:ユーザーが希望する画面モードを選択します。(全5パターン)
- カラーフォーマット:現在の画面の色を表示します(RGBに固定)
- 色合い: 画面の緑と赤の比率を調整します。
- 彩度:画面の色の濃度を調整します。

以前のメニューに戻る(画面・PC-VGAなどの選択画面に戻る)には、**MENUボタン**を押してください。

OSD調整及びその機能説明

- 時間設定

OSDメニュー ディスプレイの現在時間およびオフ/オン時間を設定します



1. MENUボタンを押してください。OSD項目が表示されます。
2. ▲/▼ ボタンを押して、**時間の項目**に移動してください。
3. ENTERボタンを押して**時間モード**を選択してください。
4. ▲/▼ ボタンを押して、変更したい項目に移動してください。
5. ENTERボタンを押して選択し、◀/▶ボタンで値を調整できます。
6. 時間モードは、以下の手順で表示されます。
 - 現在時刻:製品の現在時刻を設定します。(年/月/日/時/分)
 - オフ時刻:製品のオフ時間を設定します。(解除>一度>毎日>月~金>月~土>土~日>日)
 - 点灯時刻:製品の点灯時間を設定します。(解除>一度>毎日>月~金>月~土>土~日>日)

※祝日の設定はできません。また、メーカー推奨の設定は毎日 です。曜日指定は動作が安定しないことがあります。

 - 以前のメニューに戻る(画面・PC-VGAなどの選択画面に戻る)には、**MENUボタン**を押してください。

OSD調整及びその機能説明

- 設定-1

OSDメニュー ディスプレイの設定を制御できます。

 セットアップ  OSD設定  Multi	画面比率	全画面表示
	ファン制御	自動
	ファン動作温度	38
	ファン動作範囲	5
	照度センサー	自動
	PixelShifting	オフ
	OSDキー ロック	オフ
	DCR	オフ
	現在温度	28

1. MENUボタンを押してください。OSD項目が表示されます。
2. ▲/▼ ボタンを押して、**セットアップ**項目に移動してください。
3. ENTERボタンを押して**セットアップ**モードを選択してください。
4. ▲/▼ ボタンを押して、変更したい項目に移動してください。
5. ◀/▶ ボタンで値を調整できます。
6. 設定モードは以下のような手順で表示されます。
 - 画面比率: ユーザーが希望する画面のサイズを選択できます。(全画面/16:9/4:3/1:1)
 - ファン制御: 内部温度制御のためのファン動作を設定できます。
 - ファン動作温度: 設定された温度でファンが動作します。(ファン制御が自動に選択された場合)
 - ファン動作範囲: 設定した温度でファン動作を停止します。(ファン制御が自動に選択された場合)(1~20度の間で設定可能)
 - 照度センサー: 設定時の外部の明るさによって画面の明るさが自動的に調節されます。
 - Pixel Shifting: 一定時間経過するたびに画面のイメージを移動し、画面の残像・焼き付きを残しづらくする設定です。

確実に残像・焼き付きが残らないわけではありません。

※モデルにより、ファン制御が搭載されていない物、照度センサーが機能しない型番がございます。

OSD調整及びその機能説明

- 設定-2

OSDメニュー ディスプレイの設定を制御できます。

 セットアップ OSD OSD設定  Multi	画面比率	全画面表示
	ファン制御	自動
	ファン動作温度	38
	ファン動作範囲	5
	照度センサー	自動
	PixelShifting	オフ
	OSDキーロック	オフ
	DCR	オフ
	現在温度	28

- OSDキーロック: 製品に装着されたOSDをロック状態に設定できます。

- DCR: 動的コントラスト比(Dynamic Contrast Ratio)の使用可否を設定することができます。

※ 機能説明: 暗い画面はより暗く、明るい画面はより明るく調節して明暗比を高め、画面をより鮮明に見ることができるようにサポートする機能です。

※ 画面が急速に変わる画面では、明るさによって画面が点滅しているように見ることがありますが、これは不良症状ではありません。

- 現在温度: 現在の内部温度を表示します。この温度がそれぞれの動作保証温度を下回るように、現地の状況に併せて、設定を変更してください。

7. 以前のメニューに戻る(画面・PC-VGAなどの選択画面に戻る)には、**MENUボタン**を押してください。

OSD調整及びその機能説明

- OSDモード設定

OSDメニュー ディスプレイOSDモード機能を設定することができます。



1. MENUボタンを押してください。OSD項目が表示されます。
2. ▲/▼ ボタンを押して**OSD設定項目**に移動してください。
3. ENTERボタンを押して**OSD設定モード**を選択してください。
4. ▲/▼ ボタンを押して、変更したい項目に移動してください。
5. ◀/▶ ボタンを押して値を調整できます。
6. OSD設定モードは、以下のような手順で表示されます。
 - リセット: すべての設定を初期化します。(工場出荷状態)
 - メニュータイム: OSDメニューが表示された後、表示する時間を設定することができます。
 - OSD水平位置: OSD画面の水平位置を移動できます。
 - OSD垂直位置: OSD画面の垂直位置を移動できます。
 - 言語: OSDメニューに表示される言語を選択することができます。(韓国語/英語/日本語)
 - 透明度: OSDメニュー背景を透明に設定できます。
 - OSD回転: OSDメニューを回転して使用することができます。(0°/90°/180°/270°)
 - 以前のメニューに戻る(画面・PC・VGAなどの選択画面に戻る)には、**MENUボタン**を押してください。

OSD調整及びその機能説明

- マルチ設定

OSDメニュー ユーザーがマルチ画面を設定できます。

 セットアップ OSD OSD設定 Multi	ID設定	1
	マスターモニター設定	オフ
	クローンモード	オフ
	横軸の面数	1
	縦軸の面数	1
	商品の順序	1
	横軸の位置調整	0
	縦軸の位置調整	0

製品1	製品2	製品3
製品4	製品5	製品6

製品6台：3列×2行のマルチビジョン作成

1. MENUボタンを押してください。OSD項目が表示されます。
2. "▲/▼" ボタンを押してMulti項目に移動します。
3. 「ENTER」ボタンを押して**Multiアイコン**を選択してください。
4. 目的の項目に移動するには、"▲/▼"ボタンを押します。
5. 選択された項目で"◀/▶"ボタンを押して値を調整します。
6. 調整できる項目は以下の通りです。
 - 製品ID: PC・STBのRS232通信端末を通じて制御するための設定確認です。
PC・STBで制御しない場合は設定や変更は必要ありません。
 - マスターモニター設定: RS232C制御をマルチ運用にて使用する際、**STBから接続された1台目**のみ、
マスターモニター設定をオンにしてください。
 - クローンモード: マルチ運用する場合は全てのモニターにてオンに設定ください。
オンにすることで、DP OUTに接続された映像、音声が出力されるようになります。
 - 縦軸/横軸の面数: それぞれ縦軸・横軸を何面に分割するか？設定が可能です。
 - 製品の順序: 縦軸/横軸にそれぞれ分割したうち、設定するモニターはどこ映像を拡大するか？設定します。
 - 縦軸の位置調整/横軸の位置調整: 使用しません。
7. 以前のメニューに戻る(画面・PC-VGAなどの選択画面に戻る)には、**MENUボタン**を押してください。

USBプレイヤー

- コンテンツの入れ方

- 製品のUSB入力口にUSBメモリ接続時、静止画/動画ファイルを再生することができます。
- ※屋内用デジタルサイネージのみの限定機能となり、一部の屋外製品には搭載されていません。



以下作業は、Windowsのパソコンをお使いください。

Macで作業した場合、USBの故障及び、多くの場合コンテンツが再生されません。

【ファイル名の設定】

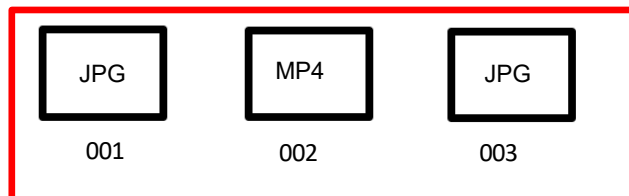
配信コンテンツは「**ファイル名の数字順**」で流れます。静止画・動画の混在再生可能です。

流す順番に数字をファイル名にし、**USBメモリに直下でコピー**してください。

※余計なファイル等はいれないでください。

※**ファイル名は数字以外入れないでください。**

「再生されない」、「順番にスライドしない」、「途中で再生STOP」の症状が発生することがあります。



この場合、001→002→003の順で流れループ再生します。

USBプレイヤー

- コンテンツの入れ方



コンテンツが1つの場合、リピート再生することができません。

【必要なコンテンツ数】

2つ以上のコンテンツを入れてください。

POINT

1つのコンテンツをリピートする場合、
同じコンテンツを2つ用意しファイル名を
001と002にすることで、リピート再生できます。



001



002

USBプレイヤー

- コンテンツの入れ方



コンテンツの入れ方によっては、方向が正しい向きで表示されません。

【コンテンツの向き】

モニターを縦長でお使いになる場合には、左/右90°回転したコンテンツを準備する必要があります。

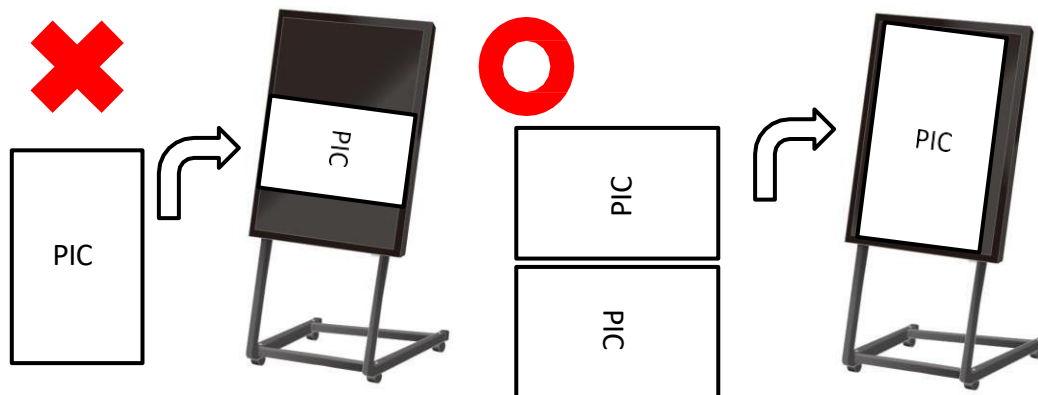
※静止画は縦長に作成した後に、左/右90°回転させます。

※動画はタテ専用のコンテンツとして準備する必要があります。

※左に傾けるか、右に傾けるかは、モニターの型番により異なります。

事前に販売先へご確認をお願いいたします。

【左90°コンテンツイメージ】



USBプレイヤー

- コンテンツの入れ方



静止画/動画ファイルのファイルサイズが大きいと正常再生いたしません。

ファイルは以下記載のサイズに合わせて作成下さい。

○ 静止画ファイル基準

ファイル形式：JPG / PNG

※その他の形式では表示されません。

推奨ファイルサイズ：1920 x 1080 pixel

※比率は16：9となります。

推奨ファイル容量：2MB以内／1ファイル

※容量が大きいと、動作不良の原因となります。

※「ビットの深さ」は「24」までとなります。

※「ビットの深さ」は、静止画コンテンツ上で右クリック⇒プロパティ⇒詳細から確認できます。

○ 動画ファイル基準

ファイル形式：MP4 ※MP4を推奨 AVI / MOVにも対応はしておりますが、配信できないことがあります。

推奨ファイル容量：～300MB以内／1ファイル ※容量が大きいと、再生不良の原因となります。

【基準レート】

タイプ① ファイルサイズ:1920 x 1080 ビットレート：2,500 フレームレート：30

タイプ② ファイルサイズ:1920 x 1080 ビットレート：6,000 フレームレート：24

コード：Mpeg4,H264,Divx3.4.5.6

容量の目安（ファイル合計）：合計～1GB以内。

※ データが重いと次のコンテンツが映るまでに時間がかかる場合があります。

※ 合計1GB以上になると動作不良の原因となるためお控えください。

USBプレイヤー

- コンテンツの入れ方



コンテンツの入れ替え時は、USBメモリのフォーマットを必ず実施下さい。

実施しないでデータを削除した場合、USBメモリ内に見えないデータが残留する可能性があり、再生不良の原因となります。

※USBメモリは、内部ロック機能のない物を利用ください。詳細は営業までお問い合わせください。

【 USBフォーマット方法 】

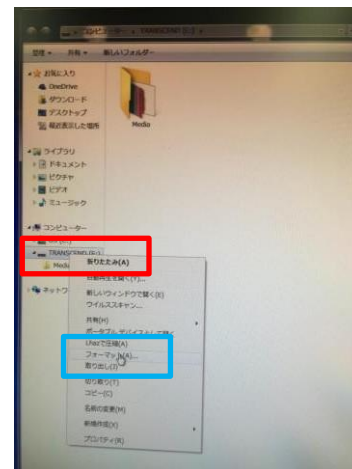
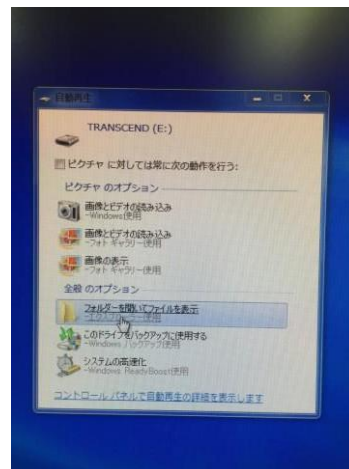
1. USBをパソコンに差してください。

※パソコンは「windows」のみとなります。

2. USBを差込むと下記の画面が表示されます。

「フォルダを開いてファイルを表示」を選択してください。

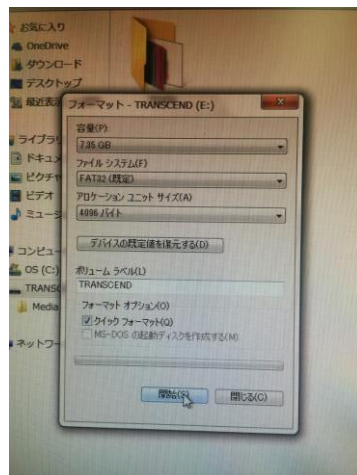
3. 赤枠部にカーソルを合わせ、右クリックしてください。
青枠部のフォーマットを選択してください。



USBプレイヤー

- コンテンツの入れ方

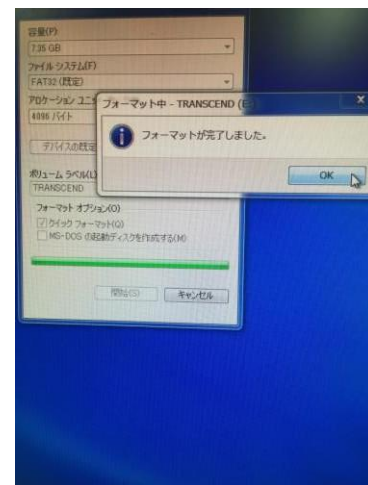
4.「開始」をクリックしてください。



5.「OK」ボタンをクリックしてください。



6.フォーマットが完了したら「OK」ボタンをクリックしてください。

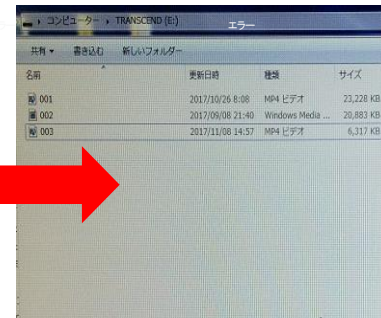
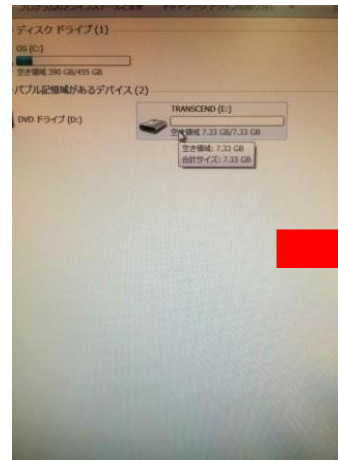
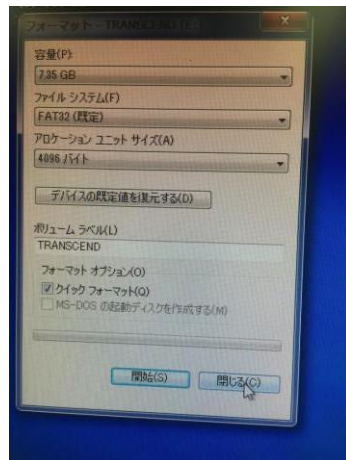


USBプレイヤー

- コンテンツの入れ方

7.画面の「閉じる」をクリックしてください。

8.windowsのコンピューターから、USBを選択してください。



コンテンツを直下でUSBにコピーしてください。

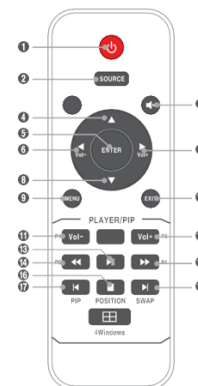
USBプレイヤー

- コンテンツ再生

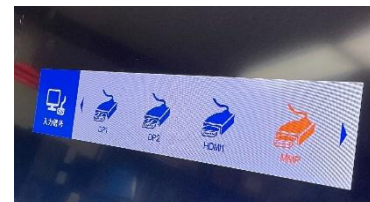
A.USBメモリ再生の方法

設定はディスプレイ用リモコンを使います。
(ディスプレイの受光部に近づけ操作してください。)

- 1.ディスプレイ裏「MMP:USB1」にUSBメモリを接続します。
ディスプレイのAC電源コードをコンセントに接続します。



2. 黒い画面でケーブルなしが表示された場合、SOURCEボタンを押します。
MMPを選択し、ENTERボタンを押してください。



USBプレイヤー

- コンテンツ再生

4. 数秒でコンテンツ再生が始まります。

※USBメモリスティックを接続していない場合、USBメモリスティックを接続すればコンテンツの再生が始まります。

※電源をOFFする場合はリモコンの赤い電源ボタンを押します。

→普段の運用でUSBのコンテンツ切り替えを行う場合、USBメモリスティックを、差し替えてから、電源を入れてください。

B.コンテンツ再生設定【再生秒数・スライドモードなどの設定ができます】

1.コンテンツ再生中もしくは通電後、MMP選択をして、MENUボタンを押すと、設定メニューが表示されます。



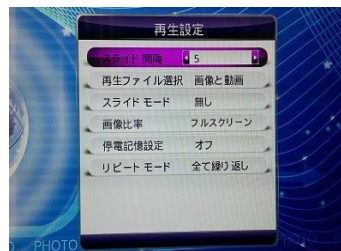
2. 設定メニュー画面内、上下▲▼ボタンで「再生設定」を選択。「ENTERボタン」を押します。



USBプレイヤー

- コンテンツ再生

3. 「再生設定画面」内で、左右◀▶で設定。移動は上下▲▼で設定を操作します。



設定する項目

- スライド間隔：5～59秒 60→120→180→240→300→600秒 以降は300秒単位で3,600秒まで 60秒以上は焼き付き、残像の原因となりますので、お控え下さい。
- 再生ファイル選択：通常は「画像と動画」にする
- スライドモード設定：11種より選択：パツパツと画面が切り替わる設定は「無し」選択です。
※一部のエフェクトで、画像によってはちらつきが発生する場合がありますので、ご確認の上設定ください。
- 下記設定は変更しないでください。※下記設定がデフォルトです。
- 画像比率：フルスクリーン
- 停電記憶設定：オフ
- リピートモード：全て繰り返し

4. 設定が終わったら、「EXITボタン」を2回押し、MMP画面(青い画面)にします。

5. MMP画面で、「再生ボタン」を押すと、コンテンツの再生が始まります。

USBプレイヤー

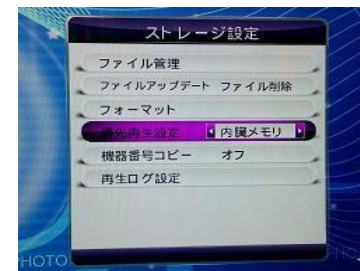
- コンテンツストレージ

C.コンテンツストレージ方法 コンテンツをサインージ本体にコピーすることができます。

1. USBメモリを抜いておきます。
2. 「SOURCEボタン」を押し、MMPに選択されていることを確認します。青い画面が表示された状態です。



3. 「MENUボタン」を押します。設定メニューが表示されます。
4. ボタン上下▲▼で「ストレージ設定」を選択して「ENTERボタン」を押します。



5. ストレージ設定画面内、ボタン上下▲▼で「優先再生設定」に合わせ、ボタン左右◀▶で「内蔵メモリ」に設定します。

USBプレイヤー

- コンテンツストレージ
- 注意事項

6. USBメモリをディスプレイ裏「MMP:USB1」に接続します。
自動的にコピーが始まり再生が始まります。(コンテンツの容量によっては数秒～数十秒かかります)



7. コンテンツが再生されたら**USBを抜いて終了**です。
※「優先再生設定」を「USB」に設定している場合、USBメモリを接続してもコピーは始まりません。
※次のコンテンツ更新時は、新しいコンテンツが入ったUSBメモリを接続して電源を入れれば、自動的にストレージが始まります。その際も、ストレージ終了後はUSBメモリを抜いてください。

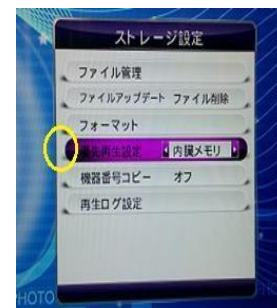
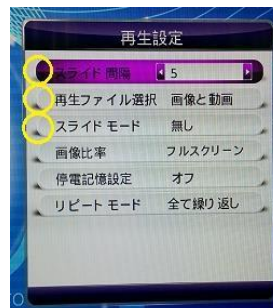
D.メニュー内注意事項

下記○印以外の設定項目は、設定を行わないでください。運用上、支障が生じることがあります。

設定メニュー内

再生設定

ストレージ設定



トラブルシューティング

テクニカルサービスを受ける前に、次の項目をチェックしてください。

問題	対策
電源を入れてから画面の表示が遅い。	この現象は、電源を入れた後、発生する画面のノイズ（雑音）を感じさせないための動作であり、不良ではありません。但し 5 分が経過しても画面が表示されない場合は、購入先へお問い合わせください。
画面の表示が明るすぎるあるいは暗すぎる。	映像モードから明るさを修正する、もしくは輝度センサー対応機種に関しては、輝度センサーの設定を変更してください。センサーに遮蔽物があると反応しませんので、遮蔽物をどけてください。
“ケーブルなし”と表示され画面に映像が表示されない	STBまたは信号送信機の周波数が製品の使用範囲を超えて使用している。製品の規格と標準モード（解像度および周波数）を確認し、サポートされる範囲のモードに変更して使用してください。
画像の状態が良くない（画面が揺れる・乱れる）	ケーブルの抜き差しとSTBの再起動を試してください。
自動オン機能が作動しない/時刻を設定し、システムを再起動（オフした後、オン時）すると入力内容が消えた。	主装置にある電源を切るときあるいはリモコンで製品の電源を切ると自動オン機能が作動します。

トラブルシューティング

問題	対策
映像は表示されるが音がでない。	リモコンで音量を上げてください。もしくは、STBの音量を上げてください。
一方のスピーカーから音がでない。	STBの音声出力設定を確認してください。
リモコンが動かない。	製品とリモコンセンサーの間に遮蔽物がないか確認してください。 また、電池が切れていないか確認してください。電池が切れている場合、リモコン上部のPLAYER/PIPの下が赤く光りません。
製品の背面にあるファン（送風機）が回転しない。	OSD調整機能の設定項目で温度制御設定の状態を確認してください。
画面が揺れる。	接続ケーブルの抜き差しと、PCの再起動を行ってください。 改善しない場合、購入先へお問い合わせください。
マルチで運用しているが、モニターにノイズが出る	HDMIが減衰している可能性があります。分配器の使用を検討下さい。

使用上の注意

製品を安全に使用するため、下記注意事項を順守ください。

- ・製品と電源コードの周りに濡れたものを置かないでください。
- ・屋内用製品を筐体、枠などに閉じ込めて、屋外で使用しないでください。
屋内製品を屋外で使用的した場合、その多くが保証対象外となります。
- ・油、煙、高温多湿、埃などによって害を受けない場所に設置下さい。
- ・電源コードや他のコードが安全かつ正確に接続されていることをご確認ください。
- ・電源コードは奥まで正確に差し込んでください。感電や火災の原因となります。
- ・絶対に濡れた手で電源コードに触れないでください。感電の原因となります。
- ・負荷がかかったACコンセントや延長コードは古い電源コードや切れたコードと同じくらい危険であり、感電や火災の原因となりますので、交換する際は、購入先へ相談をしてください。
- ・コンセントに接続する際は、製品の消費電力により、適正な電源コンセントへ接続ください。機種によっては、直接製品に結線する必要もありますので、設置環境を購入先へ相談してください。
火災の原因になりますので、製品の商品電力以下の電源接続は絶対に行わないようにしてください。
- ・製品の液晶は非常に繊細で高額な部材となります。付近でペンやドライバーなど、鋭利な道具を使用する際はご注意ください。
- ・液晶表面を拭き上げる際はベンゼンなどの科学溶剤を使用する際は、液晶表面に致命的な損傷を与える可能性がありますのでおやめください。
水ややわらかい布を使用して軽く拭きあげてください。
- ・メチル・エチル・イソプロピルなどのアルコールも使用しないでください。

使用上の注意

製品を安全に使用するため、下記注意事項を順守ください。

- ・機器の清掃を行う際は、必ず電源コードを抜いた後に作業を行ってください。
- ・リモコンに使用される電池は、子供の目につかない場所に保管してください。
- ・電池を交換するときは、+-を間違えないようにしてください。また、古い電池と新しい電池を混在させないでください。
- ・製品の設置時は、安全で転倒の危険がないスタンド・壁掛け金具を使用してください。ご不安な際は、購入先へ相談頂き、予め適合品をご用意ください。
- ・製品を移動・設置する際は、必ず2名以上で作業を行ってください。
- ・製品を長期間使用しない時は、電源コードを抜いてください。
- ・製品を落下させたり、外観が破損した場合は、電源コードを抜き、購入先へ速やかに相談を行ってください。
- ・屋内設置専用の製品は、軒下環境を含む屋外で 사용되는場合、防水性、防塵性が担保されないため保証対象外となります。
- ・製品に液体がかからないよう、設置環境にはご注意ください。
- ・マルチ製品は、ベゼル部分の強度が弱くなっております。製品を段ボールから引き出す際、設置の際、移動の際は細心の注意を払ってください。
- ・リモコンの音量設定は、少しずつ音量を上げて頂き最適な設定としてください。突然大音量にしたり、常に大音量の場合、スピーカーが割れてしまうことがあります。スピーカーは消耗品扱いとなり保証対象外となります。使用音量によっては、外部スピーカーをご検討ください(購入店にご相談ください)

残像に関して

■発生原因

液晶パネルの特性上、同じ画面を継続的に表示する場合、画面の残像が発生します。これはパネルの蓄積効果による明るさの劣化が発生することで引き起こされるもので、液晶パネルの自然現象となります。

■予防方法及び対策

長時間同じ画面を表示する場合、明るさとコントラストを抑えた状態(明るさ40/コントラスト40程度)で使用したり、動き続ける画面を表示することで抑えられます。一時的に発生した残像は動画や白画面を10時間程度表示することにより軽減されます。(ただし永続的な残像は、パネルの特性上消えなくなります)

残像を除去するのにかかる時間は残像の程度に応じて数分以内、あるいは数時間かかることがあります。したがってやむなく同じ静止画像を長時間表示するときは、2～3分程度の動画を挟み込むことで防止が期待できます。

※残像に関しては、保証対象外となります。

ドット落ちに関して

液晶モニターは精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素があります。しかし、0.01%以下で画像の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドット、明るさムラなどが発生することがありますが、これは故障ではありません。

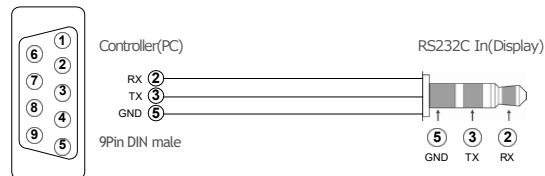
設置基準

1. 電気装置や発熱装置から少なくとも300mmは離して設置してください。
2. 換気のために壁と床から少なくとも100mmは離して設置してください。
3. 直射日光や日差しが画面に反射される場所を避けて設置してください。
特に南向き、西向きの設置の際は直射日光によるブラックアウトが発生することがあります。液晶の表面が冷えるように換気をしていただく事で予防されます。ブラックアウトは液晶の自然現象ですので、保証対象外となります
4. 設置中の破損、傷などはいかなる事情があっても保証対象外となります。
5. 屋内設置専用の製品は、軒下環境を含む屋外で 사용되는場合、防水性、防塵性が担保されないため保証対象外となります。
6. マルチモニターを設置する際は必ず、モニター間を1mm以上離して設置ください。

RS232C コマンドタイプ-1

1. 構成

- 1) スピード: 9600 ボー/秒、8 ビット、パリティ無、1 Stopビット
- 2) ケーブル接続



2. コマンドフォーマット

- コマンドではなく、OSDメニューからID設定を選択します。
- 1台の機器のみをマスター装置として設定することが可能です。
- OSDメニューから「マスターオン」を選択してください。(デフォルトはオフ)
- 「ハイパーターミナル」ウィンドウでコマンドを確認する場合、1台の装置を「マスターオン」として選択しなければなりません。

1) データフォーマット

項目	ヘッダー	ID設定	コマンド	終了
askii	did:	xxx- or all-	2.2に従う	.
hexa	0x64 0x69 0x64 0x3A	0x78 0x78 0x78 0x2D or 0x61 0x6C 0x6C 0x2D	2.2に従う	0x2E

ヘッダー: コマンドヘッドコード ID設定: D設定.
 全ての装置のコントロール - "xxx- or all-"
 装置番号: "01 ~ 99"

コマンド: 2.2に従う

終了: 送信データの終わりを通知

例 1 ID設定1番の電源オン

項目	ヘッダー	ID設定	コマンド	終了
askii	did:	01-	pn	.
hexa	0x64 0x69 0x64 0x3A	0x30 0x31 0x2D	0x70 0x6E	0x2E
10進数	100 105 100 58	48 49 45	112 110	46

RS232C コマンドタイプ-2

2) Command Type

Item	Command	Description	hexa
Power	pn	power on	0x70 0x6E
	pf	power off	0x70 0x66
	ps	on, video out / on, video in / off, video out / off, video in / on, dpms mode	0x70 0x73
Input - Source	sd	input hdmi1	0x73 0x64
	sr	input hdmi2	0x73 0x72
	ss	input hdmi3	0x73 0x73
	sp	input pc	00x73 0x70
	sdp	input Droid PC	0x73 0x64 0x70
	st	input DisplayPort	0x73 0x74
	is	input source status	0x69 0x73
	su	input usb	0x73 0x75
	sv	input DVI	0x73 0x76
Multi	ch(value)v(value)	H Set Count is value, V Set Count is value	0x63 0x68 value 0x76 value
	nh(value)v(value)	H Set window is value, V Set window is value	0x6E 0x68 value 0x76 value
	eh(value)v(value)	H Edge ADJ is value, V Edge ADJ is value	0x65 0x68 value 0x76 value
	x(number)	Display sequence no is x	0x78
	fs	fan status <-> Receive Text	0x66 0x73
	ft ft040	fan active temperature <-> ? : 020~100 ft? "fan active temp [?'C]." <-> value = 3bytes	0x66 0x74 Value 0x66 0x74 0x34 0x30
	fh fh03	fan hysteresis <-> ? : 00~20 fh? "hysteresis temp [?'C]" <-> value = 2bytes	0x66 0x68 Value 0x66 0x68 0x30 0x33
	ff	fan control off <-> "fan control : off."	0x66 0x66
	fn	fan control on <-> "fan control : on."	0x66 0x6E
	fa	fan control auto <-> "fan control : auto".	0x66 0x61
	tp	temperature <-> "temp: [?'C]"	0x74 0x70

RS232C コマンドタイプ-3

3) コマンドタイプ

Item	Command	Description	hexa
IR	ir	Enable Ir Mode, can use keyboard buttons as RMC	0x69 0x72
	q	quit (from ir & cr mode) <-> "key quit."	0x71
	p	power <-> "key power."	0x70
	u	up <-> "key up."	0x75
	n	down <-> "key down."	0x6E
	j	left <-> "key left." / Volume (-)	0x6A
	k	right <-> "key right." / Volume (+)	0x6B
	e	enter <-> "key enter."	0x65
	m	menu <-> "key menu."	0x6D
	x	exit <-> "key exit."	0x78
	i	input <-> "key input."	0x69
	r	mute <-> "key mute."	0x72
	The others	quit (from Ir mode)	The others